



しんとしん ・ つうしん 心と心・通信

Vol.4

2019.夏

～受診者様とクリニックを結ぶ便り～

この度は当クリニックを受診いただき、誠にありがとうございました。
今回も、生活習慣病により引き起こされる動脈硬化を取りあげたいと思います。

動脈硬化とは、動脈の壁にコレステロールや中性脂肪などが溜まることで、動脈の弾力性や柔軟性を失い、詰まりやすい状態になることをいいます。動脈硬化は自覚症状がないまま進行し、脳卒中や心筋梗塞といった生命にかかわる様々な病気を引き起こすことから「サイレントキラー（沈黙の暗殺者）」とも呼ばれています。

前号では頸動脈超音波検査についてお知らせしましたが、今回は“動脈硬化の進行度”を知ることができる**血圧脈波検査**についてご紹介します。

～血圧脈波検査で動脈硬化をチェック～

【血圧脈波検査とは】

四肢の血圧や血管を流れる血液の脈動の速さを測定し、血管の硬さや狭窄（動脈硬化の程度）を調べる検査です。

心電図検査のように薄着になり仰向けに寝て行きます。約5～10分程度で痛みはありません。



血圧脈波検査は

次の検診コースに付帯しています

- ★ PETプレミアム
- ★ PETスタンダード心機能プラス
- ★ 心臓ドック

次回の検診でチェックしてみましょう

■ この検査でわかることは？

- **血管の硬さ**（PWV：脈波伝播速度）
心臓から押し出された血液により生じた脈動が動脈を通じて手足に届くまでの速度を測定し、血管の硬さを調べます。
- **血管のつまり具合**（ABI：足関節上腕血圧比）
足首と上腕の血圧を測定し、その比率を計算することで、足の血管のつまり具合を調べます。

■ どんな人が検査するとよいの？

動脈硬化の原因となる悪玉コレステロール（LDLコレステロール）や中性脂肪の数値が高い方、善玉コレステロールが低い方といった**脂質異常症**の方。
そして、次のような方にもお薦めしたい検査です。

- **肥満**：内臓脂肪が多くなると、血液中の悪玉コレステロールや中性脂肪が増加し、善玉コレステロール（HDLコレステロール）が減少します。
- **高血圧**：血液の圧力で血管壁が傷つきやすくなり、悪玉コレステロールが血管壁に入り込みやすくなります。
- **糖尿病**：血糖の上昇により発生した活性酸素で血管壁が傷つきやすくなり、悪玉コレステロールが血管壁に入り込みやすくなります。
- **愛煙家**：たばこに含まれる有害物質が血管壁を傷つけます。また、善玉コレステロールを減少させます。

また、足のしびれや冷えのある方、間欠性跛行（歩くと足が痛くなり、休むと治るを繰り返す）の症状のある方に有意義な検査です。

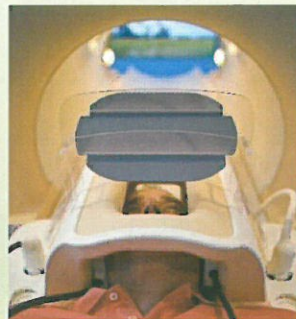
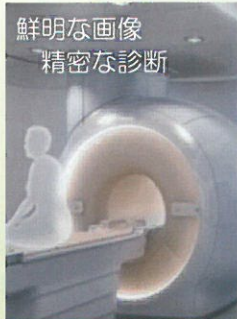
～全身がん検査「DWIBS」対応 新型3.0テスラ MRI～

NEW! ～新型3.0テスラ MRI～

当クリニックでは、さらなる診断能力向上を目指して、2018年9月に新たに3.0テスラMRIを導入致しました。

この新型MRIは、今まで以上に良質な画像が得られ、CTや既存のMRIではわからなかった病変を早期発見することができます。

従来のMRI検査に比べて閉塞感が軽減され、検査中はアニメや動画など映像と音楽を鑑賞することができ、リラックスしながら快適にMRI検査を実施いただけます。



TRY! ～DWIBS法 MRIで全身のがん発見～

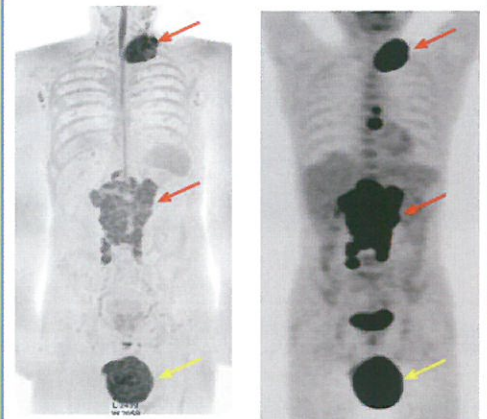
DWIBS（ドゥイブス）検査は、MRIを使用して体の広い範囲にわたり、がんやその転移を探す全身検査で、現在がん診療で利用されているPET/CT検査と類似した画像が得られます。2015年に骨転移診療ガイドラインで本法が推奨され（文献1）、2017年に欧州泌尿器学会から進行前立腺癌の転移検索として本法が推奨されました（文献2）。

PET/CT検査が苦手とする腎がん、尿管がん、膀胱がんといった尿路系のがんや前立腺がん、子宮がん、卵巣がんといった骨盤内腫瘍について詳しい検査が可能です。他にもPET/CT検査と比較すると食事制限がなく、放射線被ばくもないというメリットがあり、最近では全身のがん検診として注目をされている検査法です。

ただし、肺がんの早期の検出は不得意であり、PET/CT検査との使い分けが必要と考えられます。今後の展開にご期待ください。

文献1：骨転移診療ガイドライン 文献2：European Urology 71:82-91,2017

全身拡散強調像(DWIBS)とPETの対比



精巣癌 (→) 多発リンパ節転移 (→)

～ピンクリボンアドバイザー～

当クリニックでは、乳がんについて幅広い知識が求められるピンクリボンアドバイザー認定スタッフが、皆様をサポート致します。認定スタッフは認定証や認定バッジを身につけて業務・診療に従事しております。

マンモグラフィや乳房エコー検査は、女性スタッフが担当致します。

どうぞお気軽にご相談ください。



～お知らせ～

さいたまセントラルクリニックは、おかげ様で開院10周年を迎える運びとなりました。これもひとえに皆様の厚いご支援と温かいご厚情の賜物と深く感謝致しております。

